

会派に属さない議員
反対 阿部 治正

以下の点に異論と批判を持つことから、反対します。不安定雇用と低賃金の会計年度任用職員の多用、原子力災害への無策、休日・夜間小児救急への支援の不徹底、旧飛地山データセンター建設計画の頓挫やその計画のための用途変更の反省無き継続、旧割烹新川屋の修復保存の5億円無駄遣いを断念できない優柔不断さ、幼児教育支援センター附属幼稚園廃園を撤回しない態度、ごみ収集運搬におけるブラック企業依存や安上がり委託継続を改める姿勢の弱さ。

会派に属さない議員
賛成 森田 洋一

全体的に、大規模事業と過去最高の市債残高が目立つ予算編成と言えます。一部の先行投資をしても、将来的に借金返済のローン地獄に陥らないようにすべきです。また、ここ一番でフルパワーを発揮できる人材育成をするには、日常の信頼関係が必須です。そして、一番大切なことは、オンラインワンの発想のもとで、毎日ワクワクできるような「住んでよし、訪れてよし」の街を実現することです。引き続き、「流山だからできるんだ」という街づくりに期待します。

議会共通指摘要望 (全19項目) 令和6年度一般会計予算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 災害備蓄食料の備蓄量は、避難所避難者数を基に決定している根拠を改めて検証されたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) つばさ学園の知見を市内の全保育園・幼稚園に広げていくために、行政主導で研修会などを実施されたい。
	(2) 地域防災事業について、これまでの大規模災害の教訓を活かし、防災訓練などを通じて地域防災力の更なる向上を図られたい。		(1) 地域子育て支援センター事業費補助事業について、ひろば型の地域子育て支援拠点を新たに拡充するにあたり、利便性の確保に十分配慮されたい。
	(3) 能登半島地震を受けて、不足が懸念される防災上のトイレや水の確保対策を強化・充実されたい。		(2) 予定している南流山中学校の通学路の安全対策は可能な限り前倒しで進めるとともに、引き続き積極的な対策の実施に努められたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 生涯学習センター、南流山センターのエレベータの更新に際し、特にエレベータの停止期間などの影響が最小限となるように配慮されたい。	子どもをみんなで育むまち	(3) 教育研究企画室運営管理事業について、フレンドステーションで受入れていない不登校児童生徒及び保護者に対し、よりきめ細やかな相談体制の充実を図られたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) 他市と比較し当市の自転車ネットワークの整備が遅れていることから、整備の加速策と交差点内自転車通行帯の表示を検討されたい。	子どもをみんなで育むまち	(4) 母子保健型利用者支援事業の妊娠・出産・子育てサポート事業について、リスクを抱える妊産婦が増加傾向にあることから、携わる保健師の確保に引き続き注力されたい。
	(2) 地球温暖化対策として、緑地保全のため、緑被率に対し、目標値を設定されたい。		(1) ウイングホール柏斎場での(ご遺体の)火葬待ちが常態化、市民の葬儀に深刻な問題が生じていることから、その対策の検討を速やかに着手されたい。
	(3) 本年4月からの事業系ごみの出し方変更については、自治会など市民活動に支障が生じないように引き続き丁寧な説明を継続されたい。		(2) 議会・市民への説明不足と言わざるを得ない事案が多く発生していることから、議会・市民への十分な説明を行われたい。
	(4) 廃棄物処理施設延命化事業においては、一部施設が停止していることから、稼働中の焼却炉が不測の故障で停止しないために、点検の更なる充実を図られたい。		(3) 流山市ふるさと納税事業について、魅力ある返礼品の開拓に努め、寄附の増加を図られたい。
賑わいと魅力のあるまち	(1) 株式会社流山ツーリズムデザインにおける再建計画の議会・市民への提示・説明について、令和4年度決算審査特別委員会でも議会全体の合意の指摘要望事項となっているにも関わらず実施されていないことを踏まえ、令和6年第2回定例会までに実施されたい。	体系外 (市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(4) 市民向け電子化事業について、「行かない窓口」の周知や積極的なシステムの拡充に取り組み、市民の更なる利便性向上と職員の負担軽減を図られたい。
	(2) 株式会社流山ツーリズムデザインに対する指定管理を含む業務委託については、杜撰な運営が監査でも明らかになっていることから、その業務内容についてより厳格な管理を実施されたい。		

令和6年度流山市予算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。



令和6年度予算 流山市 検索 または

市政に関する

一般質問

令和6年第1回定例会の一般質問には、20人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。「問」部分については、各議員の草稿によるものです。なお、今定例会の一般質問通告については、市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会 令和6年第1回定例会 日程・通告 検索



問 ①免許返納者にとつて、日常生活の足となる路線バスが撤退・減便している地域では、早急な課題解決が必要ではないか。②通勤・通学・観光の利便性確保のため、バスの増便について、事業者に粘り強く交渉する必要があるのではないか。

答 市長 ①免許返納者への課題解決については、市内在住の75歳以上の方を対象に、路線バス定期券の費用の一部やタクシー料金を助成する制度を、令和5年11月16日から開始しました。また、地域



本市のバス交通に希望の光を
森田 洋一

問 流山本町活性化への稼ぐ仕組みづくりのため①一茶双樹記念館などの普通財産化・コンセッション方式の研究を進めては。②白みりんミュージアムの③運営見直し状況は。④運営費内訳・妥当性をどう評価するか。⑤運営費が割高なのは。⑥生涯学習部長 ①文化的にも高価値な施設であり、普通財産への種別替えは考えていません。コンセッション方式の導入は、市の公共施設全体の管理運営に関わるため、庁内で連携し調査研究し見直します。

公共交通計画に基づき、現在実施している福祉施策と引き続き連携を図り、地域ごとの移動ニーズを把握し、施策の周知・拡充に努めます。

②慢性的な運転手不足に加え、令和6年4月からの労働規則強化のため、路線バスおよび流山ぐりーんバスを減便せざるを得ない状況です。通勤や通学など、地域の特性に応じた交通手段の検討を進めるとともに、公共交通の利用促進策を協議検討し、市内公共交通の維持・確保に努めます。



流山本町活性化へ稼ぐ仕組みづくりについて
流政会 渡辺 仁二

議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記(「障害者」を「障がい者」と表記するなど)については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。そのため、異なる表記が混在する場合があります。予めご了承ください。